

令和7(2025)年度  
大阪大学大学院人文学研究科  
博士後期課程  
日本学専攻  
応用日本学コース

学生募集要項

## 目次

はじめに

大阪大学大学院人文学研究科の概要	1
I. 日本学専攻応用日本学コースアドミッション・ポリシー	3
II. 募集人員	3
III. 出願資格	3
IV. 出願資格事前審査	4
V. 出願手続等	5
VI. 入学者選抜方法	8
VII. 英語外部検定試験の利用について	8
VIII. 合格者の発表	9
IX. 入学手続	10
X. 入学料及び授業料	10
XI. 人文学研究科特待留学生制度について	10
XII. 個人情報への取扱い	10
XIII. 入学試験における個人成績の開示について	11
XIV. その他	11
XV. 受験上の注意	12
人文学研究科博士後期課程日本学専攻応用日本学コース (4月入学)の試験方法の変更について(予告)	13
日本学専攻応用日本学コース教員研究分野一覧(予定)	14
案内図・問い合わせ先	15

## はじめに

大阪大学大学院人文学研究科は、5つの専攻（人文学／言語文化学／外国学／日本学／芸術学）で構成されています。

人文学研究科の令和7（2025）年4月入学者を対象とする学生募集は、課程・専攻（日本学専攻はコース）ごとに行うため、学生募集要項、入試日程及び選抜方法等がそれぞれ異なりますので注意してください。

この学生募集要項は、人文学研究科博士後期課程日本学専攻応用日本学コースに出願するための学生募集要項です。

### その他留意事項

- 外国人留学生のみを対象とする日本学専攻応用日本学コース（10月入学）については、入学者選抜方法が異なりますので、別途お問い合わせください。

# 大阪大学大学院人文学研究科の概要

大阪大学大学院人文学研究科は、思想・歴史・文学・言語文化・社会・芸術など多領域にわたり超横断的な学びの場を提供し、国際的な相互理解を推進する研究者・高度専門職業人を育成します。

## ■ 人文学研究科のミッション

人文学研究科では、安定した教育プログラムを提供する5専攻群（人文学／言語文化学／外国学／日本学／芸術学）とともに、5専攻を横断して研究科全体の研究・教育体制を俯瞰し、共通科目の提供や専攻を超えた交流等を推進する組織として「人文学林」を新たに設置しました。

「人文学林」では、3つの学問分野と4つの地理的エリアを組み合わせ、12に区分された「学術マトリックス」を設けており、教員はその12の区分に配置されています。学生は所属専攻の垣根を超えてそれぞれの興味関心に従ってその区分を選択することで、社会学連携活動を実施したり研究グループを立ち上げたりするなど、専攻を超えた交流や研究の振興、さらには新たな学問分野の創出が可能となります。

## ■ 5専攻紹介

**人文学専攻** 「人間とは何か」を探求する人文学 Humanities の継承と発展

次の4コースにより、「人間性」を探求するとともに、現代の諸課題にも取り組みます。①哲学コース（哲学哲学史、科学技術社会論、臨床哲学、中国哲学、インド学・仏教学）、②グローバルヒストリー・地理学コース（東洋史学、西洋史学、人文地理学）、③文学コース（テキスト表現論 [英米文学、ドイツ文学、フランス文学、中国文学]、テキスト環境論）、④比較・対照言語学コース

**言語文化学専攻** 今日的な課題に幅広い観点から取り組む

3分野6講座（Ⅰ：超領域文化論講座、表象文化論講座、Ⅱ：コミュニケーション論講座、第二言語教育学講座、Ⅲ：理論言語学・デジタルヒューマニティーズ講座、言語認知科学講座）が連携しつつ、伝統的なディシプリンと新たな研究領域や研究方法論を融合し、言語と文化に関する高度な教養や情報活用能力を修得することで、今日の多文化・多言語社会における国家・民族・文化間の諸問題等に取り組みます。

**外国学専攻** 24の言語とその地域について多角的・徹底的に学べる

24の言語とそれを基底とする文化一般について、高度な言語運用能力をもとに理論と実践の両面にわたり総合的に教授・研究する「外国学研究」を主眼とし、人文社会科学諸分野や学際的アプローチから世界の言語と文化を研究します。①地域文化研究コース（アジア・アフリカ言語文化コース、ヨーロッパ・アメリカ言語文化コース）、②高度専門職業人コース（英語教員リカレント・コース、中国語教員リカレント・コース）

**日本学専攻** 基盤的研究と応用的展開の双方をカバーする日本最大規模の日本学専攻

基盤日本学コースと応用日本学コースの2コースを擁する日本学専攻は、日本の言語・文化・社会・歴史・文学などを厳密に学問的な方法に基づいて深く探究するとともに、その専門的知見に基づいて日本の抱える今日的課題に果敢に取り組むことのできる人材を育成します。さらに、比較や交流の観点から日本を世界的視野のうちに捉え、日本語・日本文化についての幅広い知見を基礎としてグローバルに活躍できる実践力・応用力を養います。

**芸術学専攻** 基礎と社会的実践の両方に立脚、国立総合大学最大の芸術学の専攻

4コース（アート・メディア論コース、美学・文芸学コース、音楽学・演劇学コース、日本東洋美術史・西洋美術史コース）から成る芸術学専攻では、他の何ものによっても代替不可能な営みである芸術を、全国的にも類を見ない規模で捉え、専門的・先端的且つ学際的な厚みと多様性を備えた研究・教育活動を行います。これにより、現代社会の諸システムの制約や限界を超え出る可能性・構想力を持った人材を育成します。

## ■各専攻の入学定員と学位プログラム

専攻	課程(入学定員)	プログラム	取得できる学位
<b>人文学専攻</b>	博士前期課程(47人) 博士後期課程(14人)	人文学プログラム	修士(文学) 博士(文学)
<b>言語文化学専攻</b>	博士前期課程(32人) 博士後期課程(15人)	言語文化学プログラム	修士(言語文化学) 博士(言語文化学)
<b>外国学専攻</b>	博士前期課程(25人) 博士後期課程(11人)	外国学プログラム	修士(言語文化学) 博士(言語文化学)
<b>日本学専攻</b>	博士前期課程(40人) 博士後期課程(18人)	基盤日本学プログラム	修士(文学) 博士(文学)
		応用日本学プログラム	修士(日本語・日本文化) 博士(日本語・日本文化)
<b>芸術学専攻</b>	博士前期課程(17人) 博士後期課程(7人)	芸術学プログラム	修士(文学) 博士(文学)

\* 教授会の議を経て総長が適当と認めたときは、「修士／博士（学術）」を授与する場合があります。

## I 日本学専攻応用日本学コース アドミッション・ポリシー

大阪大学および人文学研究科のアドミッション・ポリシーのもとに、学位プログラム「応用日本学」は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、次のとおり、アドミッション・ポリシーを定め、入学者を受け入れます。

### 【求める人材像】

学位プログラム「応用日本学」では、日本語・日本文化領域の教育研究に強い関心を持つとともに、日本語・日本文化を世界の諸言語・文化の中で相対的に捉え、理解しようとする比較対照的視座をもった思考力に優れた人材を広く世界に求めます。将来、国内外の高等教育機関等で当該領域における教育者や研究者を目指す人、海外協力機関や国際機関で日本語・日本文化の発信のために必要な企画・立案・交渉・運営等を行う専門職業人を目指す人、また日系企業等を活動の場として、日本と世界の国々との懸け橋となることを目指す人々の入学を期待しています。

### 【入学者選抜の基本方針】

学位プログラム「応用日本学」では、国内外から多様な人材を集めるため、大阪大学で受験する人を対象とする4月入学と、外国人留学生を対象とし、海外からの受験を可能とする10月入学に区分して入学試験を実施します。いずれの試験においても、日本語及び日本文化を世界の諸言語・文化・社会の中で相対的にとらえる比較対照的視座、自身の専門分野において博士の学位を目指すうえで必要な高度な専門的知識と方法論的知識、自律的に研究を行う能力、論述能力、外国語能力を判定するための試験を行います。

### 【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

1. 4月入学の選抜では、上記の知識・能力を考査するための筆記試験と、研究能力、意欲、適性などを判定する口述試験により選抜します。
2. 10月入学の選抜では、提出書類（小論文、研究計画を含む）の審査に加えて、上記の知識・能力を考査し、研究能力、意欲、適性などを判定するために、Eメール等によるリモートインタビューにより選抜します。

※ 詳しくは、人文学研究科日本学専攻応用日本学コースウェブサイトの「教育目標及び3ポリシー」をご覧ください。

([https://www1.lang.osaka-u.ac.jp/jc/admission/a\\_policy.html](https://www1.lang.osaka-u.ac.jp/jc/admission/a_policy.html))

## II 募集人員

専攻・コース	募集人員
日本学専攻応用日本学コース	5名

\* 博士後期課程日本学専攻の募集人員は、基盤日本学コース13名及び応用日本学コース5名の計18名です。

## III 出願資格

次の(1)から(8)のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和7(2025)年3月31日までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7(2025)年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7(2025)年3月31日までに授与される見込みの者

- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7（2025）年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和7（2025）年3月31日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7（2025）年3月31日までに24歳に達するもの

※ (7)又は(8)に掲げる出願資格により出願しようとする者は、あらかじめ出願資格の認定を受ける必要があるので、「IV 出願資格事前審査」を参照してください。

#### IV 出願資格事前審査

「III 出願資格」の(7)又は(8)に掲げる出願資格により出願しようとする者については、出願前に個別の出願資格事前審査を行いますので、**令和6（2024）年10月11日（金）**までに、下記の「出願資格事前審査提出書類」を提出してください。なお、封筒の表に「出願資格事前審査」と朱書きしてください。

##### [出願資格事前審査提出書類]

- (1) 入学試験出願資格認定申請書（所定用紙）
- (2) 研究業績調書（所定用紙）
- (3) 主要論文（(2)の研究業績調書のうちから主要論文3点をそれぞれ3部提出してください。日本語又は英語以外の論文の場合は、日本語訳文（志願者作成可）を3部添付してください。）
- (4) 最終学校の卒業証明書\*又は修了証明書\*
- (5) 最終学校の成績証明書\*

\*写しでも可。（ただし、出願資格認定後の出願に際しては、原本を提出してください。）  
日本語又は英語以外の証明書の場合は、日本語訳文（志願者作成可）を添付してください。

出願資格事前審査は提出された書類により行います。審査の結果は、本人あてに郵送で通知します。（電話による問い合わせには応じません。）

出願資格事前審査の結果、出願を認められた者は、次の「V 出願手続等」により出願することができます。

## V 出願手続等

### 1 出願書類等

出 願 書 類 等	摘 要
入 学 願 書 (所定の用紙)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真は、上半身正面向無帽で、出願前3か月以内に撮影したものを貼付してください。 (写真の大きさ縦4.5cm×横3.5cm、1枚)</li> </ul>
受験票・写真票・発送票 (所定の用紙)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太枠内に必要事項を記入してください。</li> <li>・写真票に入学願書と同じ写真を1枚貼付してください。</li> </ul>
成 績 証 明 書 及 び 修了(見込)証明書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出身大学(修士課程又は博士前期課程)の学長又は研究科長が作成し、厳封したもの(写し不可)</li> <li>・偽造防止用紙による証明書の場合は、特に厳封を要しません。</li> <li>・日本語又は英語以外の証明書の場合は、日本語訳文(志願者作成可)を添付してください。</li> <li>・<u>海外の大学等の修了(見込)者で、修了(見込)証明書内に学位名が記載されていない場合は、併せて学位授与(見込)証明書の提出が必要です。</u></li> <li>・婚姻等により証明書に記載された氏名と現在の氏名が相違している場合は、改名したことを証明する公的書類を添付してください。</li> </ul>
学力認定(確認)書類 (Ⅲ 出願資格の(6)に掲げる出願資格により出願する場合)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出身大学長等が作成(署名)したもので、下記の内容が記載されたもの</li> <li>【記載例】 □□大学としては、本学の学生である◇◇◇◇氏は、「(審査名称)」に合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力を有する者であることを確認し、報告いたします。また、当該審査に関する以下の資料を添付します。</li> <li>【添付資料の例】</li> <li>・当該審査の合格の基準</li> <li>・当該審査の合格と当該大学における修士の学位の授与要件の関係を示す資料</li> <li>・当該審査に合格した者と当該大学に編入学した他の大学の修士の学位を有する者の当該大学における博士の学位を授与するプログラムにおける取扱いの関係を示す資料</li> </ul>
IELTS(Academic Module)、 TOEFL-iBT Test、 又は TOEFL-ITP Tests の成績票 (いずれか1つのみ) ※該当する者のみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験科目「言語」に「英語」を選択する者は、英語外部検定試験の結果を提出してください。</li> <li>・詳細は、「Ⅶ 英語外部検定試験の利用について」を必ず確認してください。</li> </ul>



出 願 書 類 等	摘 要
返信用封筒 (受験票送付用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長形3号(120mm×235mm)封筒に出願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、84円分の郵便切手を貼付してください。(書留による受験票送付を希望する場合は434円分の郵便切手を貼付してください。)</li> </ul>
修士論文等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修士論文の写し2部又はこれに代わる論文(点数は問わない。)を1点につき2部提出してください。(氏名を記載した表紙を添付してください。)</li> <li>※ 本学大学院言語文化研究科、人文学研究科を令和7(2025)年3月に修了見込みの者についても、博士前期課程修了審査用とは別に必ず出願用として2部提出してください。</li> <li>・<u>出願期間中に論文を提出することができない者は、出願の際に必ず「論文提出期限延長希望理由書」(論文の提出日を明記し、志願者本人が署名、捺印したもの：様式は任意)を提出してください。</u>なお、提出の延長期限は、<u>令和7(2025)年1月20日(月)17時(持参又は郵送による必着)とします。</u></li> <li>※ 修士論文等を、出願期間中(論文提出期限の延長を希望した者については、令和7(2025)年1月20日(月)17時まで)に提出しなかった者については、受験を認めません。出願書類及び納入された検定料は返付しません。この場合、「受験辞退届」(書式は自由：A4判用紙で、本人が署名・捺印したもの)を提出していただきます。</li> </ul>
修士論文等の要約	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出論文ごとに、日本語で2,000字程度の要約を作成してください。</li> <li>・外国語の論文を提出する者については、日本語で6,000字程度の要約を作成してください。</li> <li>・<u>A4判用紙を使用し、所定の表紙を付して提出してください。</u></li> <li>・<u>ページ番号を右下に付してください。</u></li> <li>・<u>論文提出期限の延長を希望する者(「修士論文等」欄参照)についても、論文の要約については、必ず出願期間中に提出してください。</u>(<u>論文の要約についての提出期限の延長は認めません。</u>)</li> </ul>
研究計画書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学後の研究計画について、2,000字程度(日本語)で作成してください。</li> <li>・<u>A4判用紙を使用し、所定の表紙を付して提出してください。</u></li> <li>・<u>ページ番号を右下に付してください。</u></li> </ul>
修 学 歴 調 書 (所定の用紙)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国において学校教育の課程を修了した者については、必ず提出してください。</li> </ul>
研 究 業 績 一 覧 (所定の用紙)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出願時までには、学術論文の公表、学会等での研究発表などの研究業績を有する者は、提出してください。</li> </ul>

出願書類等	摘 要
<p style="text-align: center;">検 定 料 (30,000 円)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検定料納入システムにより納入してください。詳細については別紙「検定料納入システムによる検定料納入方法について」をご確認ください。<a href="https://www1.lang.osaka-u.ac.jp/jc/admission/als_info.html">https://www1.lang.osaka-u.ac.jp/jc/admission/als_info.html</a></li> <li>・ 納入完了後、検定料収納証明書(PDF ファイル)をダウンロードし、A4サイズで印刷のうえほかの出願書類とともに提出してください。</li> <li>・ 手数料は志願者の負担とします。</li> <li>・ 納入期間は以下の通りです。 2024年11月18日(月)から11月29日(金) ※最終日の17時まで。</li> </ul> <p>(注) <u>令和7(2025)年3月に本学大学院博士前期(修士)課程又は法科大学院の課程を修了見込みの者及び国費外国人留学生として入学する者については、検定料は不要です。ただし、後者の者については、国費外国人留学生であることを証明できる書類を提出してください。(本学大学院言語文化研究科言語社会専攻及び日本語・日本文化専攻、並びに人文学研究科外国学専攻及び日本学専攻応用日本学コースに在籍している国費外国人留学生は提出不要です。)</u></p>
<p style="text-align: center;">住民票の写し (外国人の出願者のみ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国人の出願者は、市区町村長発行の在留資格及び在留期間を明記した「住民票の写し(原本)」を提出してください。</li> <li>・ 出願者以外の世帯員については、証明不要です。 なお、外国人住民登録をしていない者は、「パスポート」の氏名、入国日及び在留資格を記載している箇所の写しを提出してください。ただし、海外在住の者は「パスポート」の顔写真のページの写しを提出してください。法務大臣が日本での永住を認めた者については、提出する必要はありません。</li> </ul>

(注) 1 出願書類は返却しません。

2 納入された検定料は返付しません。ただし、出願書類の不備等の理由により出願書類を受理しなかった場合又は誤って納入した場合は、本人の請求に基づいて返付します。

2 出願期間 令和6(2024)年11月25日(月)から11月29日(金)

3 出願方法 (以下のいずれかの方法で出願してください。)

(1) 【持参による場合】

- ・ 提出場所: 大阪大学箕面キャンパス 外国学研究講義棟 2階箕面事務部学生支援係
- ・ 出願書類受付時間: 平日9時00分～11時15分、12時15分～17時00分(時間厳守のこと)

(2) 【郵送による場合】

- ・ 出願書類を角形2号(240mm×332mm)封筒に入れて、封筒の表に「博士後期課程日本学専攻応用日本学コース入学願書在中」と朱書きし、箕面事務部学生支援係に必ず出願期間内に到着(必着)するように書留により発送してください。
- ・ ただし、期限後に到着したもので、令和6(2024)年11月27日(水)以前の日本国内発信局消印のあるものについては受け取ります。

## VI 入学者選抜方法

入学者の選抜は、学力検査の成績、口述試験、修士論文又はこれに代わる論文、研究計画書及び成績証明書等の審査の結果を総合して行います。

なお、試験科目「言語」または「口述試験」のいずれかの得点が満点の6割に満たない場合、当該試験科目は「不合格」とし、他の試験科目の結果にかかわらず入学試験不合格とします。

### 1 学力検査等の日程

実施期日	試験科目（配点）	時間	摘要
令和7（2025）年 2月1日（土）	言語（100点）	10：30から12：00まで	※1
	口述試験	13：00から	※2

#### ※1 入学願書の「試験科目 言語」欄に受験する言語を記入すること。

中国語、朝鮮語、モンゴル語、インドネシア語、フィリピン語、タイ語、ベトナム語、ビルマ語、ヒンディー語、ウルドゥー語、アラビア語、ペルシア語、トルコ語、スワヒリ語、ロシア語、ハンガリー語、ドイツ語、デンマーク語、スウェーデン語、英語<sup>(注)</sup>、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語のうちから、「第一言語」を除く、志願者選択の1言語の問題を課す。ただし、外国人の志願者は、前記言語に代えて日本語を選択受験することができる。

「第一言語」とは、いわゆる「母語」のことで、志願者が最も自己を表現しやすい言語をいう。

(注) 試験科目「言語」に「英語」を選択する者には「言語」の筆記試験を課しません。

その代わりに、英語外部検定試験のスコアを人文学研究科日本学専攻応用日本学コースが定める換算式に基づいて得点換算します。

英語外部検定試験成績の提出方法については、「VII 英語外部検定試験の利用について」を確認してください。

#### ※2 提出論文等及び志望する専攻分野について、口述試験を行う。

### 2 試験場

大阪大学箕面キャンパス

大阪府箕面市船場東3丁目5番10号

(<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/top>)

## VII 英語外部検定試験の利用について

試験科目「言語」に「英語」を選択する者は、IELTS (Academic Module)、TOEFL-iBT Test、又は TOEFL-ITP Tests の成績票（いずれか1つのみ）を提出することができます。成績票の提出にあたっては、以下の点について留意願います。

### 【全般的事項】

- ①IELTS(Academic Module)、②TOEFL-iBT Test、又は ③TOEFL-ITP Tests の成績票（いずれか1つのみ）を提出してください。
- 2022年4月1日以降に受験したもので、出願時において有効期限内である成績票のみ有効です。
- 提出された成績票は返却しません。

### 【① IELTS(Academic Module)】

- IELTS 事務局から大学に直接送付される電子送信での成績証明書 (Test Report

Form)のみ受け付けます。

- インターネットで IELTS 事務局に申請される際には、送付先を「大阪大学大学院人文学研究科外国学専攻／日本学専攻応用日本学コース（箕面事務部学生支援係）」、送付先住所を「〒562-8678 大阪府箕面市船場東 3-5-10」とし、備考欄に「電子送信」の旨を記入してください。
- IELTS 事務局から大学へ直接送付される成績証明書（Test Report Form）が出願期間内に届かない見込みの場合は、IELTS から受験者宛てに発行された成績票（Test Report Form）の写しを提出してください。ただし、その場合でも、IELTS 事務局から大学に直接送付される成績証明書（Test Report Form）の送付申請は必ず行ってください。令和 7（2025）年 1 月 17 日（金）までに IELTS 事務局から大学に成績証明書（Test Report Form）が直接届かない場合は得点換算しません。
- IELTS（General Training Module）は認めません。

## 【② TOEFL-iBT Test】

- ETS（Educational Testing Service 以下同じ。）から 大学に直接送付される公式スコアレポート（Institutional Score Report 又は Official Score Report）のみ受け付けます。
- インターネットで ETS に大学への直接送付の申請をしてください。申請の際に必要なとなる登録コードは「C685」です。また、Department Code が必要な場合は「98 other humanities」を選択してください。（ETS からスコアレポート発送後、大学に到着するまでに 4～6 週間以上要する場合がありますので、余裕をもって申請してください。）
- ETS から大学に直接送付される公式スコアレポート（Institutional Score Report 又は Official Score Report）が出願期間内に届かない見込みの場合は、ETS から受験者宛てに発行された Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report の写しを提出してください。ただし、その場合でも、ETS から大学に直接送付される公式スコアレポート（Institutional Score Report 又は Official Score Report）の送付申請は必ず行ってください。令和 7（2025）年 1 月 17 日（金）までに ETS から大学に公式スコアレポート（Institutional Score Report 又は Official Score Report）が直接届かない場合は無効となります。
- Test Date Scores のみを利用します。（MyBest Scores は利用しません。）

## 【③ TOEFL-ITP Tests】

- TOEFL-ITP Tests のスコアレポート（受験者用控え）の写しを提出してください。
- 本学以外で受験した TOEFL-ITP Tests のスコアレポート（受験者用控え）の写しを提出する場合は、テストを実施した機関（所属（出身）大学等）から原本証明が必要です。（原本証明の無いものは無効とします。）
- 出願期間内にスコアレポート（受験者用控え）の写しの提出が無い場合は無効となります。

## VIII 合格者の発表

合格者の発表は、令和 7（2025）年 2 月 10 日（月）13 時から大阪大学箕面キャンパス外国学研究講義棟 2 階掲示板に、受験番号の掲示により行うとともに、合格者には合格通知書及び入学手続案内を送付します。

なお、合否に関する電話による問い合わせには一切応じません。

また、人文学研究科日本学専攻応用日本学コースのウェブサイトでも合格者の受験番号を公開する予定です。

## IX 入学手続

合格者は、合格通知に同封する入学手続案内に従い、入学手続を完了してください。  
なお、指定された入学手続期間中に入学手続を完了しない者は、入学を辞退したものと  
して取り扱います。

※入学手続期間は、令和7（2025）年3月3日（月）～3月5日（水）の予定です。

## X 入学料及び授業料（下記の金額は予定であり、今後変更することがあります。）

1 入学料 282,000円（本学大学院博士前期（修士）課程又は法科大学院の課程を修了  
し、引き続き博士後期課程に入学する者については、入学料は不要です。）

2 授業料 535,800円（前期分 267,900円・後期分 267,900円）

（注1）在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

（注2）入学料及び授業料の支払方法等については、入学手続案内にて通知します。

## XI 人文学研究科特待留学生制度（私費外国人留学生として入学を予定する者のみ対象）

人文学研究科では、優秀な留学生の受入れを促進するため、私費外国人留学生を対象  
に入学試験の機会を通して「特待留学生」の採用を行っています。

この「博士後期課程日本学専攻応用日本学コース」の選抜は、特待留学生の採用対象  
となっている入学試験です。入学試験の出願において、特待留学生の申請を行い、この  
試験に合格するとともに特待留学生の採用選考で特待留学生にふさわしい優秀な留学生  
と認められた者について、若干名を特待留学生として採用します。なお、試験の結果、  
適格者がいない場合は別途実施する10月入学試験に採用枠を移行する場合があります。

特待留学生に採用された入学者が受けられる支援（特典）としては、まず、在学中の授  
業料の全額免除が適用（ただし、適用されるのは博士後期課程標準修業年限3年に限る）  
されます。このほか、入学後の研究活動等において特待留学生を優先するサポートがいく  
つか用意されています。

私費外国人留学生として入学予定の志願者は、対象者の条件を満たす限り、特待留學  
生の申請を行うことができますので、申請方法等を確認するようにしてください。

## XII 個人情報の取扱い

1 出願時に提出していただいた氏名、住所、その他の個人情報については、「入学者  
選抜（出願処理、選抜試験実施）」、「合格者発表」及び「入学手続」等の入試業務  
を行うために利用します。

なお、合格者については合格発表日以降、入学後に履修可能な教育プログラムにつ  
いて案内するために利用することがあります。

また、入学者については、「教務関係（学籍管理、修学指導）」、「学生支援関係  
（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）」及び「授業料収納に関する業  
務」を行うためにも利用します。

2 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選  
抜方法 の調査・研究のために利用します。

3 1及び2で得られた個人情報は、上記のほか、「入学者選抜方法及び大学教育の改善」、  
「大学の管理運営（各種調査・分析、事業企画等）」のために利用することがありま  
す。ただし、個人が特定される形で、その成果が公表されることはありません。

4 上記の業務を行うにあたり、一部の業務を外部の業者に委託する場合があります。  
この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、  
当該事業者に対して、提出していただいた個人情報の全部または一部を提供します。

## XII 入学試験における個人成績の開示について

入学試験における個人成績等について、開示を希望する受験者本人からの申請に基づき、次のとおり開示します。

### (1) 開示内容

- ① 受験者本人の「言語」試験の合否（「合格」または「不合格」）
- ② 受験者本人の口述試験の合否（「合格」または「不合格」）

### (2) 申請受付期間 各試験の合格者発表日から2週間

### (3) 申請方法

希望者は申請受付期間内に、下記(4)の提出書類を担当係へ「特定記録郵便」にて郵送してください。申請受付期間内の消印がある特定記録郵便に限り、期限後に到着した場合でも受理します。

担当係 〒562-8678 大阪府箕面市船場東3丁目5番10号  
大阪大学人文学研究科箕面事務部学生支援係

### (4) 提出書類

#### ① 入学試験情報開示申請書

大阪大学大学院人文学研究科日本学専攻応用日本学コースウェブサイト  
([https://www1.lang.osaka-u.ac.jp/jc/admission/a\\_ls\\_info.html](https://www1.lang.osaka-u.ac.jp/jc/admission/a_ls_info.html)) からダウンロードできます。

#### ② 受験票の写し

③ 返信用封筒定形（長形3号）の封筒に返信先住所・氏名を明記し、特定記録郵便に必要な郵便切手244円分を貼付してください。

### (5) 通知方法

申請受付期間終了後、特定記録郵便で申請者宛に開示内容を通知します。

### (6) 注意事項

- ① 期間終了後の申請は受理しません。
- ② 担当係窓口での開示内容の通知の受け取りはできません。

## XIII その他

- 1 入学願書等の所定様式は、人文学研究科日本学専攻応用日本学コースウェブサイト（入試情報）からダウンロードのうえ利用してください。提出書類は全て A4判用紙（白紙）で印刷してください。

([https://www1.lang.osaka-u.ac.jp/jc/admission/a\\_ls\\_info.html](https://www1.lang.osaka-u.ac.jp/jc/admission/a_ls_info.html))

ウェブサイトからダウンロード及び印刷できる環境にない方は、郵送で請求してください。郵送で請求を行うときは、封筒の表に「博士後期課程日本学専攻応用日本学コース募集要項請求」と朱書きし、返信用封筒（角形2号（240mm×332mm）に210円分の切手を貼付し、本人の宛名を明記したもの）を同封の上請求してください。請求・照会等先は、巻末の《問い合わせ先》とします。

- 2 出願書類の記入事項及び書類等に不備がある場合は、受理しません。
- 3 出願書類受理後は、書類の差し替えや記入事項の変更は認めません。また、出願書類及び納付された検定料は次の場合を除き返付しません。
  - ア) 出願したが受験資格がなかった場合
  - イ) 出願書類受理期限後に書類が到着した場合
  - ウ) 出願書類に不備があり受理できなかった場合
  - エ) 検定料を振り込んだが出願しなかった場合
  - オ) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合※エ) と オ) の場合は、返還請求を希望する旨、巻末の《問い合わせ先》へ連絡してください。
- 4 出願書類等に虚偽の記載をした者は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- 5 受験票は、令和7（2025）年1月10日（金）に出願者へ郵便で発送する予定です。な

お、令和7(2025)年1月15日(水)を過ぎても受験票が到着しない場合は、巻末の《問い合わせ先》に問い合わせてください。

- 6 障がい等のある者で、受験及び修学に際して特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、令和6(2024)10月11日(金)までに、巻末の《問い合わせ先》に問い合わせてください。
- 7 出願後に住所変更等があった場合は、速やかに巻末の《問い合わせ先》に連絡してください。
- 8 出願にあたっては、自身が志望する研究内容等を踏まえ、後掲の参考資料「教員研究分野一覧」により担当教員、研究分野及び研究題目等を十分に確認しておいてください。
- 9 過去の入試問題は、箕面事務部学生支援係で閲覧することができます。(コピーは不可) 当該年度に受験者がなかった専攻の試験問題は閲覧できません。詳しくはウェブサイト上の「過去の入試問題について」を確認してください。  
([https://www1.lang.osaka-u.ac.jp/jc/admission/apply\\_info.html](https://www1.lang.osaka-u.ac.jp/jc/admission/apply_info.html))

## XV 受験上の注意

- 1 試験場(大阪大学箕面キャンパス)については、大阪大学ウェブサイトアクセスマップ(<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/>)や巻末の案内図等を参照してください。
- 2 試験室等については、試験当日、大阪大学箕面キャンパス外国学研究講義棟1階エントランスホールに掲示する予定です。
- 3 試験当日は、受験票及び筆記用具(黒鉛筆又は黒い芯のシャープペンシル、消しゴム)を必ず持参してください。なお、受験票を忘れた場合は、試験場本部に申し出てください。
- 4 時計については、計時機能だけのものに限り使用を認めます。
- 5 受験者は、試験開始時刻の20分前までに試験室に入室し、受験番号ごとに指定された受験席に着席してください。
- 6 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後20分以内の遅刻に限り、受験を認めません。
- 7 試験開始後は、原則として当該試験終了まで退室を認めません。なお、試験中の発病等やむを得ない事情により一時退室を希望する場合は、挙手して試験監督者に申し出てください。
- 8 試験に関して不正な行為があると認められた時は、その者の試験を無効とし、以後の受験を禁止します。
- 9 口述試験の開始10分前までには口述試験控室に待機しておいてください。
- 10 口述試験は、受験番号順に行うとは限りません。受験者ごとに試験開始時刻・終了時刻が異なりますので、担当者から指示があるまで、必ず口述試験控室で待機しておいてください。
- 11 試験当日は、学内食堂等は営業しておりませんので、昼食は各自で用意してください。

## 【重要なお知らせ】

### 人文学研究科博士後期課程日本学専攻応用日本学コース（4月入学）の試験方法の変更について（予告）

令和8（2026）年度入試（令和8（2026）年冬期に実施予定）より、下記のとおり試験方法を変更する予定です。

#### ■入学者選抜方法

令和7年度入学試験まで	令和8年度入学試験から
学力検査の成績、口述試験、修士論文又はこれに代わる論文、研究計画書及び成績証明書等の審査の結果を総合して行います。  学力検査 ・言語 ・口述試験	学力検査「言語」を廃止し、提出書類による1次審査と口述試験による2次審査の二段階選抜とします。  【1次審査】 英語外部検定試験成績票（*1）、入学試験論文（修士論文又はこれに代わる論文）、成績証明書、研究計画書等の提出書類により選考します。  【2次審査】 1次審査の合格者に対して日本語で口述試験を行います。 入学試験論文及び研究計画についてのプレゼンテーション後、その内容に関する質疑応答、及び研究分野の専門知識に関する質疑応答などを行います（*2）。

\*1 IELTS(academic module)、TOEFL-iBT Test、英検 CSE（S-CBTも可）、のうち、いずれか1つの成績票のみを提出してください。出願期間の初日から遡り2年以内に取り得たものに限りです。

英語外部検定試験のスコアを人文学研究科日本学専攻応用日本学コースが定める換算式に基づいて得点換算します。換算式は公表しません。

\*2 口述試験は、以下の項目について評価します。

- 1) 「応用日本語学」、「日本語教育学」、「比較日本学」の三つの分野のうち、志願者が応用日本学コースで取り組みたい分野に関する研究歴
- 2) 日本語及び日本文化を世界の諸言語・文化・社会の中で相対的にとらえる比較対照的視座に立ち、自身の専門分野の研究に必要な高度な専門的知識や方法論的知識を踏まえて自ら研究課題を設定し、計画に沿って自律的に研究を進める能力
- 3) 自身の研究に関する質疑に的確に回答できる能力、及び専門外の人にも理解できるように自身の主張を説得的に伝達する能力



●日本学専攻応用日本学コース教員研究分野一覧(予定)－博士後期課程

分野	職名	担当教員	研究分野	研究題目	
比較日本学	教授	五之治 昌比呂	比較文学	日本における西洋古典受容の研究	
		岩井 茂樹	日本文化史、比較文化	①伝統文化研究 ②諸概念の受容および変容研究 ③表象文化研究	
		柴田 芳成	日本古典文学	中世文学の研究	
	准教授	佐野 方郁	日本史学	①近現代日本の国際関係に関する研究 ②戦後日本の史学史に関する研究	
		柴田 芳成	日本古典文学	中世文学の研究	
		水野 亜紀子	日本近代文学	日本近代女性文学の研究	
		松村 薫子	日本文化学、民俗学	①民間信仰の研究 ②妖怪文化の研究	
		永原 順子	日本文化論	①伝統芸能、祭礼、怪異伝承の研究 ②自然科学の視点を用いた日本文化研究	
	応用日本語学	教授	岩井 康雄	日本語学、日本語音声学・音韻論	①語彙カテゴリーと音韻 ②日本語学習者音声の特徴
			岸田 泰浩	理論言語学・言語類型論	①統語論を中心とした理論的研究・類型論的研究(格やevidentiality等) ②コーカサスの諸言語(アルメニア語やグルジア語)との対照研究
中田 一志			現代日本語文法、文法教育	日本語のモダリティ、アスペクト、複文、接続詞の研究	
今井 忍			日本語学	日本語の形態法に関する認知言語学的研究	
荘司 育子			日本語学・統語論	①機能語の類の統語論的研究 ②統語的な観点からの文法体系の構築	
山川 太			理論言語学	①日本語動詞における意味構造と統語的特徴との関連 ②漢語レベルにおける意味構造の分析	
准教授		山泉 実	言語学(意味論、語用論)	名詞句の認知意味論・認知語用論	
		村田 真実	方言学、社会言語学	①日本語諸方言の研究 ②京阪式アクセントとその変種についての研究	
講師		鴻野 知暁	日本語学	古代語を中心とした日本語の文法・意味	
日本語教育学		教授	筒井 佐代	日本語教育学	①日本語の会話の構造分析 ②日本語の話しことば教育への会話分析の応用
	小森 万里		日本語教育学	①アカデミック・ライティング教育 ②日本語教育のための文法研究	
	准教授	高井 美穂	日本語教育学	①日本語の会話分析 ②会話分析を生かした日本語会話教材の開発	
		櫻井 千穂	日本語教育学	①年少者日本語教育 ②バイリンガリズム	
		立川 真紀絵	日本語教育学	①異文化間コミュニケーション ②日本語のビジネスコミュニケーションに関する研究 ③アイデンティティ研究	
		藤平 愛美	日本語教育学	①ICT教育 ②ブレンデッド型学習のための教材開発	

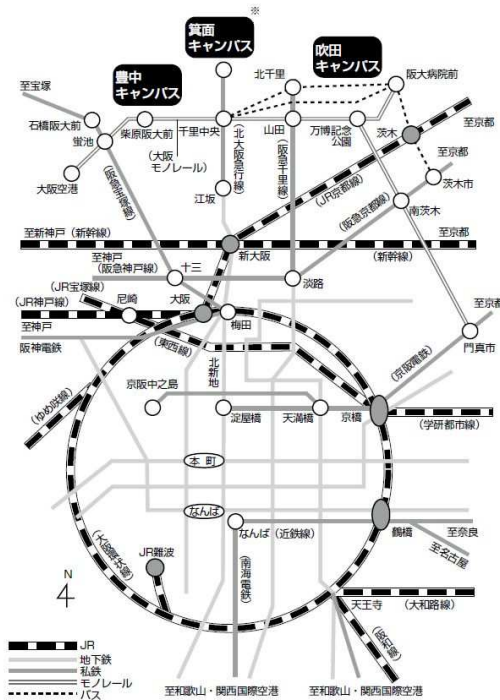
注1) 指導教員には、主指導教員と副指導教員の区別があります。入学後に主指導教員が決まります。

注2) この一覧表は、人文学研究科日本学専攻応用日本学コースと日本語日本文化教育センターの専任教員に限定して作成しておりますが、

今後変更となる場合があります。

## 案内図・問い合わせ先

### 《案内図》



### 鉄道：

#### ○ 北大阪急行線

箕面船場阪大前駅下車 徒歩約 3 分

### バス：

#### ○ 阪急バス

G 箕面小野原線（小野原東～呉羽の里）	船場団地 下車 徒歩約 1 分
H 箕面中央線（阪急石橋北口～千里中央）	箕面船場阪大前駅 下車 徒歩約 3 分
I 小野原東線（小野原東～千里中央）※朝・夕のみ	船場団地 下車 徒歩約 1 分
K 豊中市内線（阪急豊中駅～千里中央）	新船場南橋 下車 徒歩約 7 分

### 《問い合わせ先》

大阪大学人文学研究科箕面事務部学生支援係  
 〒562-8678 大阪府箕面市船場東 3 丁目 5 番 10 号  
 E-mail jinbun-minoh-shien@office.osaka-u.ac.jp